

第10回富山県PTA会員大会



11月26日(土) 富山県民会館にて、～Enjoy!! 幸せな未来は自分が本気で楽しむことから～のテーマで「第10回富山県PTA会員大会」が開催されました。

魚津市内の小・中生ダンスチーム「The M Kids」による元気なパフォーマンスからスタートしました。

開会式では中村県P連会長挨拶、荻布富山県教育委員会教育長、金田日本PTA全国協議会会長からの祝辞の後、三行詩コンクール表彰式が行われました。高岡市P連からは戸出西部小学校 西部碧里さん、牧野中学校 二口花緒里さんが最優秀賞の表彰を受けられました。続いて「すべてはみんなの笑顔のために」～あなたはお子さんから学校に行きたくないと言われたらどうしますか～のテーマで4名のパネリストによるパネルディスカッション①が行われました。近年増加傾向にある行き渋り、不登校の子供との親のかかわり方、学校現場への提案がありました。

午後からは研究発表があり、高陵小学校PTAが「学校・PTAの統合から地域の統合へ」と題して発表しました。講演会では、伊藤真波氏(日本初の義手の看護師 北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表)による基調講演があり、最後に「幸せに生きる力」を育むために、学校・家庭ができることをテーマにパネルディスカッションが行われ閉会となりました。

本大会は、県内すべてのPTA会員がウェブで視聴できるように配慮されています。

第78回日本PTA東海北陸ブロック研究大会名古屋大会

9月30日(金)・10月1日(土)久しぶりの現地開催で行われた東海北陸ブロック研究大会名古屋大会に、高岡市P連より14名が参加しました。1日目の分科会には砺波市立出町小学校の応援部隊の第4分科会(学校との連携)と、第6分科会(地域との連携)に分かれての参加をしました。

2日目の全体会では、熊本大学准教授の苦野一徳氏が「学校が、150年ぶりに変わるーそもそも教育は何のため?ー」と題して、記念講演が行われました。

次年度の第79回の福井大会は、10月21日(土)に開催され、「地域との連携」分科会では、国吉義務教育学校PTAが発表します。ぜひ、みんなで応援にいきましょう。



高岡市教育委員会・高岡市への要望事項

今年度から、次年度予算に考慮していただくため、提出時期を早期、9月26日(月)に、市長、教育長に提出してきました。以下はその内容です。

1. 教育環境関連
 - (1) 児童生徒に寄り添うスタッフの拡充
 - (2) 教員の多忙化解消に向けた人材確保
 - (3) ICT教育の推進・充実

2. 施設関連
 - (1) 施設のセキュリティ強化
 - (2) 校舎周辺の安全対策
 - (3) 特別教室のエアコン設置
3. 新型コロナウイルス感染症関連
 - (1) 平等な学びの機会の提供
 - (2) 学校行事の情報共有と運営の効率化
 - (3) 命と人権を守る取り組みの強化
4. その他
 - (1) 部活動の地域移行
 - (2) 学校施設整備等の予算拡充
 - (3) 高岡市PTA連絡協議会の振興

広報たかおか第166号編集スタッフ

委員長 黒田 隆大(高陵小)	副委員長 吉本 恭子(太田小)	委紙裏表紙 齋藤 幸代(西条小)	特 集 山崎 剛史(川原小)	市P関連 石丸敦司(高陵中)	単P紹介 堀井 拓光(高岡中)	副会長 谷口 浩史(中田中)
----------------	-----------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	----------------

編集後記

今号では特集として『語ろう!考えよう!わが校のSDGs～私たちになにができる?～』をテーマに各学校の取り組みを紹介させていただきました。各学校の取り組みは、形を変えながらも、不変なものになってきました。未来のために、変えたいもの、守りたいもの、育み、勇気をもつために、学び、開拓する。子供たちにはSDGsの学習を通して、心と心を育んで欲しいと思います。私たちも子供たちの笑顔にあふれる高岡を続けたい。注ごう。そんな思いを持っていただければ幸いです。今号の発行にあたり、ご協力いただきました各学報委員の皆様、先生方、広報委員の皆様に心より感謝申し上げます。

川原小・山崎

ほ場視察



11月29日(火)、たかおか地産地消推進ネットワーク主催のほ場視察研修に参加しました。

高岡市の小・中学校では、地産地消活動の一環として、市内産を優先に、次いで県内産＞近県産食材というように、近い産地のものから優先して供給しています。それにより、採れたて新鮮で季節に応じた旬なものを食べることができています。

今回の視察では、(有)スタファームさんで人参の収穫体験とクローバーファームさんで搾乳体験をさせていただきました。生産者さんたちが、毎年、たくさんの工夫と努力を重ねていることを実感しました。

ほ場視察を通して、生産者さんたちの思いや学校給食に携わってくださっている職員の方々の思いに触れ、改めて「安全・安心でおいしい給食」が当たり前である日常に感謝する機会になりました。

シン・親学び研修

家庭教育委員会は、11月8日(火)に高岡市役所でシン・親学び研修を行いました。各中学校区に配置されている親学び推進リーダーの協力の下、市内各学校PTA会長ら、計約50名が親学びを体験しました。吉川佳子県PTA連合会アドバイザーが進行し、「子供が学校に行きたくない」といったケースや「子供が失敗して家に帰ってきた」ケースについて、どのような声かけをするか、どのように接するかグループディスカッションを行いました。

和やかな雰囲気の中、日ごろの悩みや他の方の考えが聞けるなど、多くの学びがありました。

教育環境講演会



教育環境講演会「子供たちのための働き方改革」が1月31日(月)に、富山県教職員組合執行委員長 相澤誠氏を講師に迎え、開催されました。PTA会員85名出席の中、先生たちの勤務や教員のなり手不足などの実態について、お話いただきました。今後の取組について、8つの具体的なアクションの提案にいくつも質問が出るなど、有意義な時間を過ごしました。

PTA事業報告会

1月30日(月)に、「PTA事業報告会」が開催されました。今年度は、名称も役員研修会から変更され、今までの単位PTA発表、委員会活動報告のほか、県P連出向者からの報告が加わりました。吉川佳子県P連アドバイザー、本江学市P連アドバイザーからは、発表に関する講評やいろいろな活動の説明などもあり、新たな研修となりました。



新年懇親会

1月18日(水)に、ホテルニューオータニ高岡で3年ぶりに新年懇親会が開催されました。

角田悠紀高岡市長、中村総一郎県P連会長の祝辞の後、近藤智久教育長のご発声による乾杯で祝宴が始まりました。コロナ禍のため、参加者は80名余りと少なかったのですが、久しぶりの祝宴とあって、あちらこちらで懇親を交わす姿が見られました。





高陵中学校PTA

会長 折橋 祐紀

～学校、PTA、地域で育てる白バラ～

高陵中学校の校庭には毎年綺麗な白いバラが咲き誇るバラ園があります。

バラの栽培は1951年の創校間もない頃に始まった取組で、1983年の校舎整備の際に一度無くなりましたが、1997年にPTAが『高陵バラ園』として復活させました。以後、地域のボランティアの方の指導の下、PTA環境整備委員の人たちが肥料や除草などの手入れを行い、時には先生や生徒たちの協力も得ながらバラ園の整備を行っています。

コロナ禍により学校行事やPTA活動が制限される中、この活動は屋外で距離を保ちながら作業ができるので感染リスクが低く、また子供たちにとっても『育てる喜び』を学ぶ貴重な体験の場になっています。そして綺麗な花を咲かせたバラは花束にされ、運動会や合唱コンクールで優勝したクラスに贈呈されることが高陵中学校の伝統となっています。大地に根を張り美しい花を咲かせて欲しいという願いを込めながら、これからもこの素晴らしい活動を続けていきたいと思ひます。





高陵小学校PTA

会長 木本 博之

高岡市立高陵小学校は、明治34年創校の定塚小学校（児童数401名）、明治45年創校の平米小学校（児童数103名）の2校が令和4年度に再編統合され新たに開校された学校です。現在は、定塚小学校の校舎を活用していますが、令和8年に高陵中学校の敷地内に建設予定の新校舎でのスタートとなります。

令和4年度4月のPTA総会を経て、高陵小学校PTAが新しく活動を開始しました。執行部の他、各学年の学級単位から選出されるクラス役員が所属する5つの委員会と、各校区自治会から選出される委員が所属する地域委員会、父親が自由に参加することができる父親交流委員会の7つの委員会に加え、会計・事務局・監事・安全保護者の会で構成されています。



シリーズ

単に紹介

高陵・福岡中学校区編



福岡中学校PTA

会長 宅美 仁志

「子供と向き合い、真剣に考える」をスローガンとし、私たち福中PTAは活動しています。コロナ禍になって3年目となりました。若干の制限があるものの少しずつ学校行事が行われるようになりました。福中運動会、福中六華祭（合唱コンクール）が3年ぶりに開催され、保護者の皆さんに披露することができました。特に3年生は、中学校生活最初で最後の合唱披露となる事もあり、学年全員で「大地讃頌」を心込めて合唱しました。また、修学旅行も予定通り実施することができました。

PTA活動もコロナの感染状況を見極めながら少しずつ活動を広めています。今年度はPTA資源回収も実施することができました。少子化で生徒の減少とともない、生徒がいない地区もあり、これまで当たり前活動できたことが難しい等、課題も山積していますが、PTAの皆さんと力を合わせて乗り越えていきます。

子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨くと言われます。中でもコミュニティとの繋がりを大切にしたいと考えており、福岡町の一員として盛り上げていきたいです。また、中学校の応援団でありたいと考えています。子供たちの幸せの為に、みんなでできることをみんなで楽しく考え、配慮しながら活動し有意義なPTAを目指していきます。





福岡小学校PTA

会長 中田 誠

～福岡町の伝統を受け継ごう～

福岡小学校PTAでは、毎年9月23・24日に開催される福岡つくりもんまつりに、3年生はつくりもん制作、6年生は菅笠音頭で町流しに参加しております。また、地域のつくりもん名人の方をゲストティーチャーとしてお招きし、つくりもん教室を開催しました。歴史を交えて野菜の接ぎの仕方等を教えていただきました。まつり当日は、かわいい作品が多く並び、大変好評をいただきました。

おかげで、今年度のつくりもんコンクールでは、次勝という好成績を収めることができました。作品制作にかかわられた皆様、大変お疲れ様でした。つくりもんまつりのフィナーレは6年生による「越中菅笠音頭」の輪踊り。コロナウイルスの影響で3年ぶりの披露となりましたが、多くの方に観覧していただき、6年生の力強く優雅な踊りに地域の方より嬉しいお声をたくさん頂戴いたしました。

福岡小学校PTAはこれからも学校・家庭・地域との連携を密にして子供たちに多くの経験を与えられるように活動に取り組んでいきたいと思ひます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特集

牧野中学校

SDGsと生徒会活動

牧野中学校の生徒会では、それぞれの委員会が、SDGsの達成に向けて生徒会活動を進めています。

執行部…リサイクル活動の推進
人権委員会…みんなの手作り体験談募集
校紀委員会…皆が仲よく挨拶運動
文化委員会…SDGsに関するクイズの放送
体育委員会…スポーツと平和に関する放送
保健委員会…健康に関する新聞の発行
給食委員会…食品ロスをなくす運動
美化委員会…校内フラワー大作戦
図書委員会…SDGsに関する本の紹介

その他にも学校生活をよりよくするために意識調査を行ったり、より良い人間関係を築くために仲間のよさやがんばりを放送や掲示板で紹介したりしています。生徒自らが考えて行動する生徒会活動を通して、生徒の自主性や行動力が少しずつ育まれていることを実感しました。未来を担う生徒たちが、SDGsの達成に向けて主体的に行動できる大人へと成長することを期待しています。

持続可能なふるさと「伏木」を目指して

伏木小学校

令和3年度、伏木小学校では、「持続可能なふるさと『伏木』を目指す」をテーマとして、各学年で実践しました。低学年では、伏木っ子にとって身近な海と楽しく遊んだり、探検したりすることを通して豊かな海を大切にしていこうと考えました。中学年では、万葉歴史館での学習から伏木のよさを見付けたり、「ふれあいの杜」での除草や果拾い体験を通して、地域の自然を自分たちの手で守ろうとする意識を高めました。高学年では、安心・安全なまちづくり、そして伏木の将来について考えました。

また、伏木小学校には遠泳大会や日の出など、歴史と伝統ある独自の行事がいくつもあります。これらの行事は、保護者や地域の多くの方も子供の頃体験してきておられるものであり、現在もたくさんの方々の協力を得ながら受け継がれてきています。子供たちはこれらの体験を通して、豊かな自然環境、地域や人とのつながりなどについて考え、ふるさと「伏木」を大切にしていこうとする心を育んでいます。

これからも、世界に誇れるふるさと「伏木」を守り受け継いでいく学習や活動を続けていきたいと思ひます。



国吉義務教育学校

SDGsにつながる取組

国吉義務教育学校では、毎週月曜日の登校時に、児童生徒玄関前で児童生徒会主催による挨拶運動「世界の言葉で挨拶しよう」を行っています。毎回、「グーテンモルゲン（ドイツ語）」のように、国を決めて一緒に挨拶することにより、児童生徒の協力関係や世界の国への関心も深まりつつあります。また、PTA役員や教職員も一緒に参加しており、本校としての特徴的な行事の一つになっています。

SDGs 10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
16 平和と公正をすべての人に

6月21日（火）、昼休みの時間を使って、「レインボーファミリー活動」としてプランターに花苗植えを行いました。レインボーファミリーは、前期課程で運動会の同じ団であることとなる学年の子供が、年間を通して縦割り清掃や栽培活動等に取り組んでいます。今回の花苗植えでは、高学年が低学年の児童に優しく接しながら仲よく協力して取り組んでいました。

今後、花壇の水やりをしながら花の成長を児童で見守っていくのも楽しそうです。

SDGs 13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナシップで目標を達成しよう



五位小学校

地域の方への感謝を形に

五位小学校では、総合的な学習の時間を中心にSDGsを意識しながら学習に取り組んでいます。

特に4年生では、旧東五位小学校の頃から、地域の一員として住みよい地域づくりに貢献しようと、登下校時に利用している地下道清掃に取り組んでいます。この活動は毎年3学期になると4年生の指導のもと3年生へと引き継がれてきました。

「環境チャレンジ10」にも取り組んでいます。一学期末、地域在住のときや環境チャレンジ推進員の方から、環境を守るために自分たちにできる活動を学び、夏休み中に家族と取り組んだ成果を報告し合っています。

さらに今年度は、理科の学習で栽培したヘチマの実を活用したSDGsの取り組みに挑戦しました。昨年末、地域の方が肥料を入れて、耕してくださった学校農園で、今年は大きなヘチマがたくさん収穫できました。家庭科室で適当な大きさに切ったヘチマを弱火で20分ほどゆでると、厚い皮がすっとむけていきます。種を取り出すのが少し大変ですが、乾燥させれば「ヘチマたわし」ができて上がります。

10月末から実施する「五位っ子安全感謝の週間」で、完成した「ヘチマたわし」を感謝の手紙と一緒に、登下校時にお世話になっている地域の見守り隊の方々にお渡しする予定です。



PTA活動にもSDGsの視点を

横田小学校

横田小学校では「地球規模の課題を自らの課題として捉え、持続可能な社会を実現するために自分にできることを考え実践する態度を育てる。」を目標として、総合的な学習の時間を軸としてSDGsに取り組んでいます。

3年生は、「高岡のすてきを探そう」をテーマとして、高岡の歴史ある文化遺産建造物を大切にしようとする心を育てています。校外学習では二上山や雨晴海岸へ行き、高岡市の豊かな自然とふれ合いました。

4年生は、「横田スマイル隊～人にやさしく・地球にやさしく～」をテーマとして、環境問題について学んでいます。SDGsの「目標6 安全な水とトイレを世界中に」に関連して高岡市上下水道局の方をお招きし、水のろ過実験を目の前で見せていただきました。私たちが普段使っている水は沢山の人の努力や想いによって安心・安全に使えていることや、水の大切さについて楽しく学ぶことができました。また、「とやま環境チャレンジ10事業」に参加し、地球の環境を守るために自分が出来ることを考え、家庭と連携しながら実践をしています。

5年生は、「出動！横田守り隊！～自分たちにできること～」をテーマとして防災について学びました。横田小学校区のハザードマップを確認したり消防団について調べたりすることで自分たちに出来る防災について考え実践しています。

6年生は、「未来に向かってACTION！～自分を磨く、仲間と磨く！～」をテーマとして自分自身のキャリアについて考えました。将来の夢について考えたり過去の自分について振り返ったりすることで、働くことの意義や公共のために役立つとする態度を養っています。

PTA活動においては、PTA総会資料や広報誌をペーパーレス化しホームページの記事を充実させる取り組みを行っています。昨年度においては横田小学校のホームページの閲覧数は過去最高を更新しており、取り組みの成果が顕著に表れています。

これらの活動を通して「幅広い視野と興味をもち、自ら問題を発見し解決策を模索しながら、自分にできることを実行し自他共によりよい社会を創ろうとする子」を学校とPTAとが一体となって育てています。



福岡中学校

ジェンダー平等を実現しよう

福岡中学校では、総合的な学習授業でSDGsについて考える話し合う事に取り組んでいます。今回は生徒が話し合い作成したレポートをご紹介します。

生徒A：私たちは、LGBTと呼ばれる方たちについて考えてみました。これまでは性の違いは男性と女性に分けるのが一般的でした。しかし、体の性と心の性が違ったり同性が恋愛対象になったりする方もいます。男女以外にも多様な性があることを一人ひとりが知り、社会全体で受け入れることが大切です。

LGBTとは、Lesbian（レズビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシュアル）、Transgender（トランスジェンダー）の頭文字をとった言葉です。コロナショックで増加している家庭内暴力もジェンダーの問題を考えるきっかけになっています。「女性は家庭で家のことをするべき」という考え方が根強く、こうした課題を解決するために、この目標では、差別や暴力をなくし、能力を伸ばすことができるような社会の仕組みづくりが必要である事を学びました。

生徒B：2020年から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、家庭内暴力が増加していることがわかっています。感染症の世界的な流行という非常事態の中で、ジェンダーの問題が浮き彫りになったのです。

生徒C：その人にはその人の辛いことがあるからこそ一人の人間として尊重して差別しないなら、それはジェンダー平等につながると思いました。



Let's SDGs! ～我ら下関守り隊～

下関小学校

今年度下関小学校では、4年生の総合的な学習の時間を活用してSDGsについて学びました。4月の終わりに「SDGsとは何か、世界でどんな問題があり私たちにできることは何か」という話題から学習がスタートしました。

またSDGsについて理解するための動画を視聴し、自分事として捉えられるように学習を進めてきました。

今後の活動内容として、1学期は自分の興味をもったSDGsの内容について調べたりまとめたりしました。2学期は1学期に調べたSDGsの問題を解決するために自分たちができることは何かを考え、家族や友達に呼びかけたり、SDGsに取り組んでおられる身近な人にインタビューしたりして個人やグループの課題を追究していきました。一人一人が「自分たちの未来をよくしていこう、未来の下関を守っていこう」と考えました。



ひとりひとり、
みんながそれを考えて、
行動することが大切

持続可能な開発目標
(Sustainable Development Goals : SDGs)

